

平成30年度

原町第三小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 杉 千尋

1 学校図書館の概要

学校の紹介

市内中心部に位置する全校児童330名（普通学級13、特別支援学級2）の学校である。

図書室は、調べ学習で使用する図書を中心に配架した「調べる本の部屋」と物語や絵本を中心に配架した「物語の部屋」の2部屋に分かれている。

平成24年度にモデル校の一つとして学校図書館支援活動を開始し、今年で7年目の活動となる。なお平成28年度に異動があり、現学校図書館支援員での活動は3年目である。

平成30年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
60名	44名	61名	47名	55名	55名	8名	330名

（平成31年3月末時点）

学校派遣日数 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 小森由貴子先生

学校図書館蔵書数（4月当初） 19,036点

学校図書館受入点数（3月末時点） 513点

うち 市費購入点数及び金額 324点（473,611円）

うち 寄贈資料点数 135点

うち PTA費購入冊数 54点

2 平成30年度の課題及び目標

課題1 蔵書の速やかな電算登録を行い、電算システムを利用した個人貸出開始の見通しを立てる。

課題2 図書準備室に仮配架している絵本の整理を進め、すでに整理の済んでいる物語の図書と合わせて書庫としての活用を目指す。

課題3 環境や栽培といった優先的に更新作業を要する分野を中心に、調べ学習図書の充実を図る。

目標1 年度内に「物語の部屋」に配架する蔵書の電算登録を終える。また電算システムを利用した個人貸出の規則を整備する。

目標2 年度内に図書準備室の整理を完了し、書庫として運用を開始する。

目標3 調べ学習の様子を確認し、特に必要とされている分野の図書を優先的に購入して充実させる。

3 活動の方針

- ・図書館運営全体計画に沿って、担任等と連携して児童の読書活動を支援する。
- ・児童図書委員会の協力を得て新着図書案内やおすすめの本紹介等を行い、図書室の利用促進を図る。
- ・原町第三小学校が目指す児童像の一つ「自ら本に手を伸ばし、読書を楽しむ子ども」を実現するため、レファレンスサービスの周知をするとともに「読みたい本」の提供を目指す。

- ・全国学校図書館協議会制定の「学校図書館図書廃棄規準」を参考にして図書の整理及び廃棄を進めると同時に、資料の更新を行って常に児童が最新の情報で学習できるよう努める。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当の先生との打ち合わせ ・授業利用開始 ・利用オリエンテーション実施 ・電算化作業（～3月）	・前期組織編成及び前期活動計画設定	・学校図書館支援員会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	・個人貸出開始 ・PTA環境整備ボランティア活動（～3月） ・地域読み聞かせサークル活動（～2月）	・貸出当番開始 ・自己紹介カードの掲示 ・おすすめ本の展示	
6月		・しおりプレゼント企画実施	・施設見学（2年生）
7月	・夏休み特別貸出実施 ・購入図書の選書打ち合わせ ・先生方への購入希望図書アンケート実施（～8月）	・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・夏休み特別貸出周知	・子どもとしゃかんだより配布 ・子どもの読書に関するネットワークフォーラム参加
8月	・夏休み貸出図書返却処理（～9月）		
9月	・購入図書の選書調整	・夏休み特別貸出図書未返却児童確認及び督促 ・前期活動反省	
10月	・図書の発注 ・読書月間企画打ち合わせ	・後期組織編成及び後期活動計画設定	
11月	・購入図書の受入 ・読書月間企画実施	・おすすめ本の展示 ・読書月間企画実施協力	
12月	・冬休み特別貸出	・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・冬休み特別貸出周知	・子どもとしゃかんだより配布
1月	・冬休み特別貸出図書返却処理 ・電算貸出開始	・冬休み特別貸出図書未返却児童確認及び督促 ・おみくじ企画実施（～2月）	
2月	・長期未返却者確認及び督促	・低学年への読み聞かせ	・子どもとしゃかんだより配布
3月	・個人貸出終了 ・蔵書点検、不明本搜索	・不明本搜索 ・後期活動反省	

4 年間活動内容

1 年間の主な活動記録

4 月

- ・在校生向け利用オリエンテーションの実施

2 年生以上のすべての学級で利用オリエンテーションを実施し、貸出方法の確認を行った。

5、6 年生には「調べる本の部屋」も案内し、調べ学習だけでなく個人貸出でも利用可能なことを説明した。

- ・リクエストボックスの設置

以前より児童に「蔵書のない本を読みたい」や「調べ学習でこのような資料がほしい」ということがあれば、学校図書館支援員へ声をかけるよう伝えていた。

しかしそういった場面があってもなかなか声が届かないため、匿名で希望が出せるリクエストボックスを設置した。

(写真 1)

もらったリクエストはすべて目を通し、物語の部屋前の廊下掲示板にて随時返事の掲示を行った。リクエストの中には、すでに蔵書はあるが児童自身で見つけられずにいるだけのものも多くあり、自分宛ではない返事であっても掲示を見て借りていく様子が多く見られた。



写真 1

新たに設置した、匿名で出せるリクエストボックス。

5 月

- ・個人貸出開始

ゴールデンウィーク後、オリエンテーションを実施した 2 年生以上を対象に個人貸出を開始した。

また、個人貸出開始に合わせて、物語の部屋内に図書委員のオススメ本を展示した。

(写真 2)



写真 2

個人貸出開始に合わせて図書委員のオススメ本を展示。

6 月

- ・新入生向け利用オリエンテーションの実施

4 月に入学した 1 年生を対象に利用オリエンテーションを実施した。

事前に図書委員の協力を得て撮影した写真を使いながら、図書室のきまりや貸出・返却の仕方を説明した。

また、説明だけでなくオリエンテーション後に実際に貸出をして練習を行い、後日、クラスごとに返却の練習も行ったのち、通常の個人貸出を開始した。

- ・スタンプラリー企画協力

図書委員発案によるスタンプラリー企画への協力を行った。

企画は本を借りるごとに台紙へスタンプを押印し、3 冊分をためると図書委員手作りのしおりがもらえるというものである。学校図書館支援員はスタンプラリー台紙の印刷やしおり用紙の用意等、主に準備段階での協力を行った。

企画の実施自体は児童が主となって行ったが、放送でお知らせを入れたりポスターを作製したりするなど積極的に宣伝し、用意した 100 枚のしおりは低学年を中心に 14 日間の期間内にすべてプレゼントすることができたようだった。

7月

・寄贈本受入

オリエンタルランドより10万円分の図書寄贈があり、受入と装備を行った。

事前に提出した希望図書一覧は、リクエストボックスへ寄せられたものを中心に選書及び作成をした。

8月

・「物語の部屋」配架蔵書の電算登録

児童がいない夏休みに集中して電算登録を行った。

「物語の部屋」に配架する蔵書およそ5,800冊のうち、半数以上の登録が終わり、電算システムを活用した個人貸出に関して見通しを持つことができた。

9月

・「かえってきたわんこカード」実施

「かえってきたわんこカード」を実施した。

これは昨年度の1月から2月にかけて行った「わんこカード」（戌年にちなんだもので、表に犬のイラスト、裏にその犬の豆知識を掲載した全40種類のカードを用意し、1回借りるごとに箱からカードを1枚引くことができるというもの）の復活企画である。

貸出を促すためにあえて多めの種類を設定したことで、昨年度の実施期間内に全種類のカードを集めることが叶わず、復活を望む声が多かったことを受けて今回の実施に至った。

一方で当時の期間内に全種類を集めた児童もいたため、犬を猫に変えた全15種類の「にゃんこカード」も新たに用意した。（写真3）

例年、夏休み明けの9月は図書室へ通う習慣が途切れ、貸出冊数が落ち込み気味であったが、この企画の実施により9月の貸出冊数は前年度308冊の4倍以上となる1,331冊を記録した。



写真3

今回新たに用意した「にゃんこカード」も表にイラスト、裏に豆知識を掲載している。

10月

・図書の選書、購入

夏休み以降に職員室で図書カタログを回覧し、購入図書の希望調査を行った。

これにより各学年から希望の挙がった図書に調べ学習図書で更新が必要な分野、児童がリクエストボックスへ寄せた希望を加えて選書、購入を行った。

・「雑誌総選挙」の実施

今年度は19誌の雑誌を購読しているが、中には児童がほとんど手に取らない雑誌もあり、具体的にどの雑誌が人気なのか調査する目的で「雑誌総選挙」を実施した。

対象は、最新号を各学年の学級文庫として配架としている「こどものとも 年中向き」、「こどものとも」、「かがくのとも」、「たくさんのふしぎ」、「Newsがわかる」、「ジュニアエラ」の6誌を除いた13誌とした。

投票は1人何票でも可とし、約1か月の投票期間を設けた。

合計で447票の投票があり、右表の通りの順位となった。

低学年男子への人気が高い「鉄おも！」が圧倒的な得票数で1位となり、次いで学年関係なく人気の高い「アニメディア」が多くの票を獲得した。

表 「雑誌総選挙」 結果

順位	雑誌名	得票数
1	鉄おも！	214
2	アニメディア	60
3	3分クッキング	35
4	ね〜ね〜	28
5	猫びより	23
6	キラビチ	23
7	ディズニーファン	22
8	W a n	11
9	イラストレーション	10
10	月刊ピアノ	7
11	まちがい絵さがしY o u	6
12	小学一年生	6
13	子供の科学	2

11月

・「くじびき読書ラリー」の実施

読書月間企画として「くじびき読書ラリー」を実施した。

本を1冊借りるごとにスタンプカードへ押印し、計3冊分のスタンプを集めて12月のくじびき大会で利用できる「くじびき券」と交換するというものである。

くじびき大会で当たるプレゼントは学校で購読している雑誌の付録等で、その個数から企画への参加は1人3回までと制限を設けた。

・購入図書の受入

10月に選書、購入した図書311冊の受入を行った。

「くじびき読書ラリー」開始にあわせて貸出ができるようPTA環境整備ボランティアの協力を得て、最優先で作業を行った。

12月

・「くじびき大会」の実施

11月に行った「くじびき読書ラリー」でくじびき券と交換した児童を対象に「くじびき大会」を実施した。プレゼントは大きく4つのグループに分け、くじを引いて当たったグループの中から欲しいものを1つ選ぶ形式とした。(写真4、5)

最終的なくじびき大会参加者は89人、合計152枚のくじが引かれ(1人最大で3回まで)、プレゼントと交換された。



写真4 くじを引く児童の様子。



写真5 プレゼントを選ぶ児童の様子。

・昔話図書の整理及び整備

低学年の国語で昔話を読む単元があり、物語の部屋に配架する昔話絵本だけでなく図書準備室に仮配架している昔話絵本も利用できるように整理し、必要に応じて整備を行った。

1～3月

・占いコーナーの設置

物語の部屋の出入口近くに11月に受入をした占いの図書と手作りのおみくじ筒を置いた占いコーナーを設置した。(写真6)

入室時や退出時に興味を持って占っていく児童の様子が多く見られた。

また、占いの図書の中には児童にとってやや難しい単語も含まれており、コーナーの中に国語辞典を置いて児童がその場でですぐに調べられるようにした。



写真6 出入口近くに設置した占いコーナー。

・「第2回くじびき大会」の実施

12月に「くじびき大会」を行ったが、プレゼントがまだ残っていること、再度実施してほしいという声が多く聞かれたことから第2回の実施となった。

前回よりもプレゼントの個数が少ないため、形式を変えて各クラスで貸出冊数の多い児童上位5名程度へ招待状を送って実施することとした。

対象期間は3学期開始の1月8日から2月28日までとし、目安として2週間ごとに各クラスの上位5位までの貸出冊数を公表した。

クラスによっては期間内の貸出冊数が同数の児童もあり、招待状を受け取ってくじびき大会に参加した児童は74名となった。

また今回は参加賞として金と銀のしおりを用意し、いずれか好きなものをプレゼントした。(写真7)



写真7 参加賞のしおり。

5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 977点/年

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	総合計
年間合計	1,157	1,574	1,473	770	797	585	94	6,450
一人あたり	19.3	35.8	24.1	16.4	14.5	10.6	11.8	19.5
一人あたりの昨年度比	54%	178%	138%	103%	80%	196%	69%	106%

※1 1人1点1週間の貸出(夏休み及び冬休みの特別貸出は1人2点以内次学期開始までの貸出)

※2 1年生は6月から3月上旬まで、2年生以上は5月から3月上旬までの貸出(うち8月は特別貸出図書返却期間のため貸出なし)

② 学級文庫貸出点数

(単位：点)

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	139	180	210	80	110	145	66	930

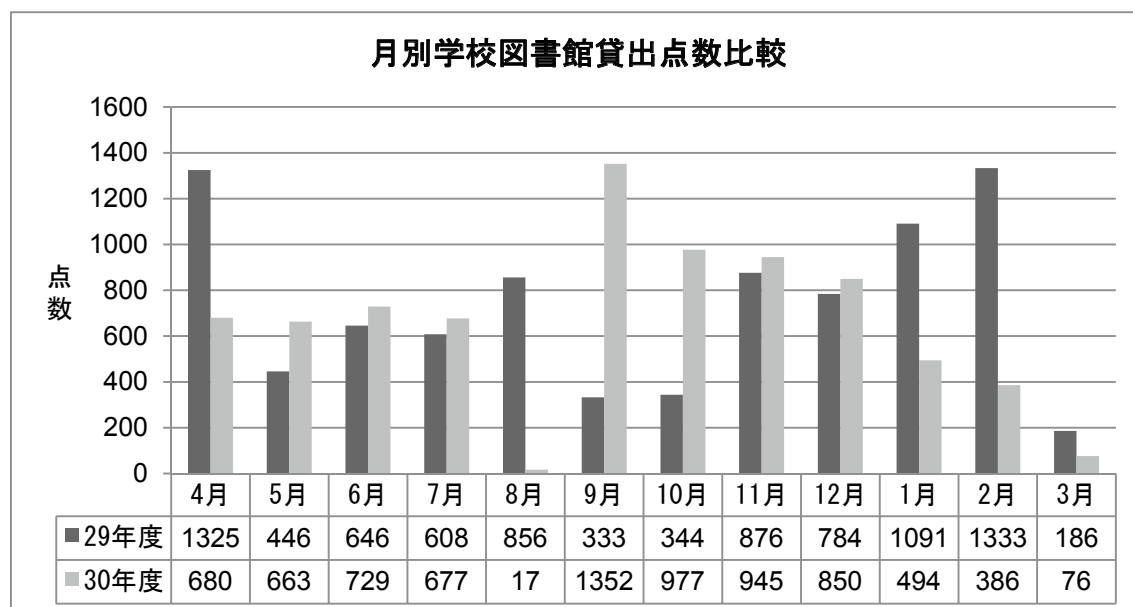
③ 調べ学習等貸出点数

(単位：点)

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	58	74	151	86	50	26	21	466

(2) 学校図書館利用実績比較

表 月別貸出点数の比較



4月、8月の貸出は主に学級文庫である。今年度は図書室へ足を運ぶよう学級文庫を人数に合わせた最低限の冊数に絞ったこと、夏休み中にいったん回収して再貸出という形を取らなかったことから、昨年度よりも少ない数字となっている。

また、1月～3月はインフルエンザの感染拡大防止のため、児童が集中的に来室するような大きな企画を行わなかったことも影響して昨年度に比べて大きく貸出点数が減った。

一方で、企画を行った9月、10月に大きな伸びが見られたほか、前述以外の月では昨年度を上回る点数となった。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 成果1 夏休みなど児童が登校しない期間を利用して集中的に電算登録を行い、電算システムを利用した個人貸出へ向けて見通しを立てることができた。
- 成果2 図書準備室に仮配架している絵本のうち、授業での利用があった昔話絵本の整理及び整備を行い、活用することができた。
- 成果3 先生方へ希望調査を行い、求められている調べ学習図書の充実を図ることができた。

(2) 来年度に向けた課題

- 課題1 電算システムを利用した個人貸出に関する規則を整備し、部分的にでも電算システムによる個人貸出を開始する。
- 課題2 引き続き図書準備室に仮配架している絵本の整理を進め、すでに整理の済んでいる昔話絵本、物語の図書と合わせて書庫としての活用を目指す。
- 課題3 引き続き先生方へ希望調査を行うと同時に児童の利用の様子を注視しながら調べ学習図書の更新、充実を図る。